

2021年5月31日

報道関係各位

一般社団法人電子情報技術産業協会

JEITA、スマート保安に係るシステム導入促進ガイドブックを発行 — プラント保安分野のDXに向け、現場目線の考え方やソリューションを紹介 —

一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）のスマート保安に係る検討会は、プラント施設が抱える構造的な社会課題の解決策として期待されている、IoT・AI・ビッグデータなどを活用したスマート保安の実現に向け、初めてスマート保安の導入を検討する企業が活用できる基礎知識や課題解決のためのソリューションをまとめた『スマート保安に係るシステム導入促進ガイドブック』を発行し、本日、JEITAのWEBサイトにて公開したことを発表しました。本ガイドブックは大企業に留まらず中小企業にも取り入れることができる社会的受容性の高い仕組みの実現を目指したもので、JEITA会員のみならず、どなたでも無償でダウンロードすることができます。

JEITAのスマート保安に係る検討会はスマート保安の普及を目的として、業界の垣根を超え、ITベンダー、OTベンダー、プラント事業者の三者が一堂に会していることが特長で、2019年11月に設立されました。今回発行したガイドブックはその三者が一体となって取りまとめ、プラント保安分野のDX（デジタルトランスフォーメーション）を推奨するもので、導入を検討する事業者の現場目線で、スマート保安の導入に向けた考え方やソリューション事例集（事例数40）、行政の取り組みなどが紹介されています。

本ガイドブックについて、スマート保安に係る検討会の主査を務める相馬 知也（日本電気株式会社）は次のように述べています。

「プラントにおける保安/保全の現場が設備の高経年化と労働力不足に直面していることから、スマート保安の導入に対して期待が高まりつつある一方、いざ導入しようとする、ベンダーとのコミュニケーションなどで必要以上の労力が割かれることも少なくありません。このような現場の課題の解決に向けて作成したのが本ガイドブックです。本ガイドブックは実際に導入検討/利用を行う現場をターゲットとして作成しており、導入目的や適用範囲、解決したい課題などで簡単にソリューションや製品を探せるような構成としました。また、初めて導入を検討する企業において、手順や検討項目/スケジュールなど、基礎知識としても活用できる情報も盛り込んでいます。本ガイドブックがプラント事業者の皆様に活用され、スマート保安の導入が一層進み、安全向上と現場負荷の軽減に役立つことを願っています。

スマート保安に係る検討会は、スマート保安の普及を図るため、本ガイドブックを活用した潜在的ユーザー向けの普及・啓発を展開するとともに、プラント分野でIoTがより活用されるよう、規制の見直しやプラント施設の検査方法として参照されている規格類の改正等に関連した取り組みを後押ししてまいります。今後の取り組みにつきましては、随時発表いたします。

【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先】

一般社団法人電子情報技術産業協会 経営企画本部 広報室

TEL : 03-5218-1053 E-mail : press@jeita.or.jp

詳細情報

■ガイドブック概要

タイトル：

スマート保安に係るシステム導入促進ガイドブック

発行：

一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）

価格：

無償（JEITAのWEBサイトよりPDFにてダウンロード）

<https://www.jeita.or.jp/cgi-bin/public/detail.cgi?id=802&cateid=1>

公開日：

2021年5月31日

目次：

- ・はじめに
- ・行政の取組み
- ・スマート保安の導入に向けた考え方
- ・スマート保安に活用可能なソリューション一覧
 - ①目的・データ種類・適用業務インデックス Ver
 - ②スマート保安官民協議会 民のアクションプラン紐づけ Ver
- ・ソリューション事例集
- ・スマート保安に係る検討会 構成員

■スマート保安に係る検討会

メンバー：

主 査 日本電気株式会社

副主査 横河電機株式会社

委 員 アズビル株式会社、東芝インフラシステムズ株式会社、
日本アイ・ビー・エム株式会社、株式会社日立製作所、三菱電機株式会社、
富士通株式会社、富士電機株式会社、株式会社荏原電産

客 員 高圧ガス保安協会（KHK）